

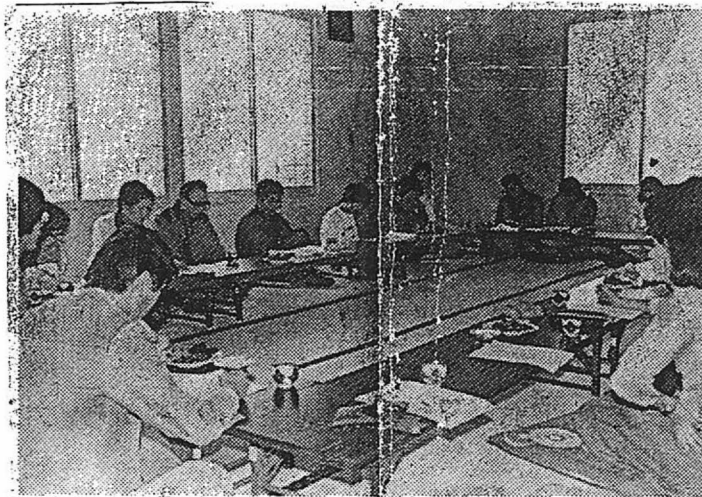
# かきめ

1985.12.17.  
北海道難病連  
厚岸・浜中支部

お変わりありませんか  
年の瀬が近くなり気せわしい毎日と想っています。  
子どもたちを中心に「カゼ」がはやっていきます。「カゼ」は大敵です  
充分注意してお過ごし下さい。

今月の健康 12月  
厚岸町保健婦 酒井富子  
酒のみに一言・暮正月忙しですな！  
週二回は酒を休んで、腹の身のうちです。  
◎酒とカゼ薬といつしよにのむと複合毒性  
のキケンあります。酒と睡眠薬もキケン

11月10日の学習交流会は、肝炎の方達を主流として、子ども  
数人と共に三十人近い集りとなりました。昼食を共にして、有  
意義な一日でした。(道新の記事です。読まれた方もあと思えます)



## 肝臓病に認識新た

道難病連厚岸浜中  
支部の学習交流会

【厚岸】道難病連厚岸浜中支部(小柳悦子支部長)主催の学習交流会は十日、厚岸白浜町の田辺医師会ホールで開かれた。厚岸、浜中のほか根室、阿寒からも参加、約三十人が釧路協立病院の田辺医師から肝臓病の話聞いたあと、昼食を兼ねて交流会を開き、今後の会の進め方や日常生活についての情報を肝臓病の話聞く参加者たち。

この中で田辺医師は、アルコールによる肝臓病は個人差があるが、日本酒を同じく三合ずつ飲み続けている人でも病気になる人、ならない人がいる。少なく飲んでも肝臓に障害の出る人、残念ながら体質がアルコールに合わないと思っあきらめてもらうしかありません。などエピソードを説明、参加者の笑いを誘っていた。

また同行の田村医師は、リユーマチについての相談を受けた。

11月16日、17日

札幌で役員研修会が開かれました。

その二日程前に札幌は雪降りということですから冬支度で小柳支部長、堀井・中川・田宮の四人で行って来ました。難病連も、医療機器部兩での問題も大筋では解決して、落付いた感じでした。研修のなかみは各自で折を見てみなさんに報告することになっていますが、障害者住宅の設計と、自助具についての学習は大変勉強になりましたので、新年の集り  
のときに、札幌から来ていたとき度いと尋ねてます。それと私達が利用できる制度についても、知らなかつた事が沢山あつて驚きました。一人でも多くの参加で集りを成功させましよう。

## 全国初の 難病相談員制度

1 東京・柏江(まえばし)市  
柏江難病患者と家族の会の会長  
で、藤たか(ふじたか)さんが柏江市の今年四月発足の相談員制度で始めて相談員として委嘱されました。

相談員は病気のことはもちろん、生活のこと、就労、結婚、どんな悩みでも相談にのってもらえるんです。こんな制度が出来たら良いですね。

私達の患者会では、こういう制度になつていない現状なので、不十分ですがみなさんの相談にのっています。

ボランティア活動懇話会  
厚岸町社会福祉センター

12月15日 開かれた懇話会に案内がありましてので支部長と田宮氏が出席しました。

ホランテアは社会人として当前のですが、それによって福祉を切りつめたり、後退させられは困ります。皆さんよい年をお迎之下さい。